中学校学習指導要領保健体育科編における剣道の変遷に関する研究

A Historical Study on the Change of National Curriculum in P.E. of Japan. ~Focusing Particularly on the Position of Kendo~

1K10C110-0　小田　寛人
主査 友添秀則先生　　副査 吉永武史先生

１　研究の動機

私は小学４年生のときから大学４年に至るまで約１２年間、剣道を行ってきた。競技者として試合で勝つことを考えた練習を通して剣道や礼儀作法を学んだ。そして、大学入学後は体育教員を志して勉強してきた。競技としての剣道と学校体育の中での剣道の違いを教育実習で学び、学習指導要領において剣道がどのような形で位置づけられてきたのか、どのように変遷してきたのかについて詳しく知りたいと思ったのが本研究の動機である。

日本では、学習指導要領は全ての教科において法的拘束力をもち、社会情勢の発展に伴い学校教育に対しての各種要請を受けながら改訂を繰り返してきた。中学校学習指導要領保健体育科においては１９４７年の学校体育指導要綱から２０１２年度より完全実施されている新学習指導要領まで７回の改訂が行われてきた。本論で詳述するが、これらの改訂は「経験主義体育」期、「体力主義体育」期、「楽しい体育」期の三期に区分できる。そこで、その改訂の度に剣道の位置づけがどのように変化してきたのか。また、現在の剣道の授業をめぐる問題を検討し、今後の剣道の授業がどのようにあればよいかという点を今回の研究の題材として取り上げた。

２　研究の目的・方法

１９４７（昭和２２）年の学校体育指導要綱から２００８（平成２０）年改訂の中学校学習指導要領に至るまでの中学校学習指導要領における剣道の位置づけを明らかにし、今後の剣道の授業がどのようにあればよいかについて考察を加える。

本研究は文献講読によって行う。１９４７（昭和２２）年の学校体育指導要綱から、２０１２（平成２４）年に完全実施された学習指導要領までの学習指導要領と剣道関連書物などの文献を用いて研究を行う。また、インターネット検索を用いて情報収集を行う。

３　各章の要約

第1章では、アメリカで行われていた新体育に影響を受けた「経験主義体育」とはどのようなものか、この時期の保健体育科の目標は何であったのかを検討し、それらをふまえて、「経験主義体育」期における剣道の位置づけを明らかにした。剣道は、戦時色の払拭という課題を持つ「経験主義体育」期において軍国主義的教材とされ、1947要綱、1951要領では取り扱われていなかった。

第2章では、生徒の身心の発達に重点を置いた「体力主義体育」とはどのようなものか、この時期の保健体育科の目標は何であったのかを検討し、それらをふまえて、「体力主義体育」期における剣道の位置づけを明らかにした。剣道は「体力主義体育」期に区分される1958要領の中で「格技」として取り扱われた。その中で剣道は基本的な技術がつまった「切り返し」を行うことにより体力の向上と技術の習得という2つの役割を担っていた。また、1969要領ではこの時代のもう1つの特徴である効果的・構造的特性論にたって改訂が加えられ、産業化社会を背景にして相手への尊敬の気持ちや礼儀を忘れずにどのようにして勝ち抜いていくのかを学ぶという点で価値が見出されていた。

第3章では、生涯を通してスポーツを行うための準備に重点を置いた「楽しい体育」とはどのようなものか、この時期の保健体育科の目標は何であったのかを検討し、それらをふまえて、「楽しい体育」期における剣道の位置づけを明らかにした。剣道は「楽しい体育」期において生涯スポーツの選択肢として大きな役割を担っている。1989要領から国際化という社会の風潮のなかで自国の文化の理解を深めるという考えから「格技」から「武道」に名称が変更され、「武道」のなかで剣道が取り扱われた。そして、2008要領から武道を1つの運動形態と捉えて、多様な運動形態を全ての生徒に経験させたいという意図と、武道を我が国固有の文化であると捉え、武道そのものを全ての生徒に経験させたいという意図から「武道」が必修化された。

４　まとめ

本章で明らかにしてきたように、「武道」は 1958 要領において「格技」として復活し、2008 要領において必修化された。これに伴って、これまで以上に多くの中学生が剣道の授業を受けることが予想される。しかし、実際の剣道の授業には様々な問題がある。それらの問題を①指導者不足、②予算の問題、③授業モデルの確立、④具体的な教具の提案という4つの観点から考察を加えた。この4つの課題に対して、体育界と剣道界が力を合わせて取り組んでいくことで、体育で剣道の魅力に触れた生徒が、生涯にわたり、それぞれのペースで剣の道を歩むことを期待したい。